

いざという時に役立つ! 救命講習を受けてみませんか?

私たちが  
レクチャーします!



倒れた方を見かけた時、とっさに救命活動ができますか?  
心臓や呼吸が止まった方を助けるには病院や救急車よりも先、  
“その瞬間”から救命を始めなければなりません。3分間何もしない場合、助かる可能性は20%近くまで低下しますが、正しい応急手当ができれば、救命の可能性を大きく高めることができます。  
消防署では、毎月第3日曜日に救命講習を開催しています。小学校高学年、中学生、高校生には授業の1コマを借りて救急教室も開催しています。  
人命救助だけでなく、なりたい仕事の資格取得につなげたり、スキルアップすることも可能です。

普通救命講習  
(3時間)

- 座学** 発見から救急隊に引き継ぐまでの流れ、心肺蘇生法の流れを学びます。
  - 実技** AEDの取り扱い方や人工呼吸、胸骨圧迫の方法を具体的に実践します。
- カリキュラムを終了した方には修了証を交付します。

吉田高校の生徒が講習を受けました

7月28日(木)・29日(金)の2日間、吉田高校探究科2年生、3年生の希望者を対象に講習会が行われました。参加したのは13人。初めての経験に戸惑いながらも、懸命に取り組んでいました。

身に付けておくと、いざという時に役立つので受講して良かったなと思いました。職員の方がとても面白くて良かったです。

家や周りで誰かが倒れてもすぐに救命活動ができるようになって良かった!

丁寧に教えてくださってとても楽しかった。貴重な経験ができ、将来のためになることが学べました。



消防課 救急係 ☎42-3952

毎月一回  
定期開催  
普通救命講習

心肺蘇生法、AED使用方法など

開催日時 | 11月20日(日) 9:00~12:00(筆記・実技試験を希望する方は13:00まで)

申込締切 | 11月13日(日)

お問い合わせ | 消防課 救急係 ☎42-3952



安芸高田市消防本部・安芸高田消防署 ☎42-0931・お太助フォン 42-3952 ☎47-1191



あきたがた  
れきしきこう  
安芸高田  
歴史紀行

かわすみやまじんじゃえま  
川角山神社絵馬・  
じょうきせんず  
蒸気船図

(川角山神社蔵当館寄託)



安芸高田市歴史民俗博物館  
学芸員 吉藤 妃花梨

シリーズ  
「博物館コレクション」  
第22回

**川角山神社**  
川角山神社(川角山八幡宮)は美土里町生田にある神社です。延長923(931)年の間に石清水八幡宮(京都市八幡市)から分霊しましたが、火災のため社殿を焼失。小さな祠に祭られていたところを、元龜1570(1573)年の間に毛利輝元が再建したと伝えられています。

**川角山神社絵馬**  
絵馬は、祈願や報謝(神仏の恩に感謝し報いること)のために、社寺に奉納する額のことです。生きた馬の代わりに絵を描いて奉納したのが始まりと言われ、後には馬以外も描くようになりました。

この絵馬は、嘉永6(1853)年に浦賀に來航したアメリカ東インド艦隊の蒸気船、いわゆる「ペリーの黒船」を描いた当時の瓦版(江戸時代の新聞)を原画とするものです。額縁に記された奉納年は安政2(1855)年で、ペリー來航の2年後となっていますが奉納者の名前は書かれていません。  
ペリーの來航後、ペリーの肖像や「黒船」を描いた瓦版などが広まりました。これもその一つで、パロディ的な要素の強いものになって



います。  
船首と船尾が顔のように描かれ、船尾にはアルファベットを模したような記号も見られます。

この絵馬を奉納した人物がどのような経緯でこの絵馬を作成、あるいは入手したかは不明ですが、瓦版を原画とする絵馬は極めて希少なことから、貴重な絵馬といえます。

川角山神社絵馬・蒸気船図  
板絵彩色 / 安政2(1855)年奉納  
69.7×90.7cm